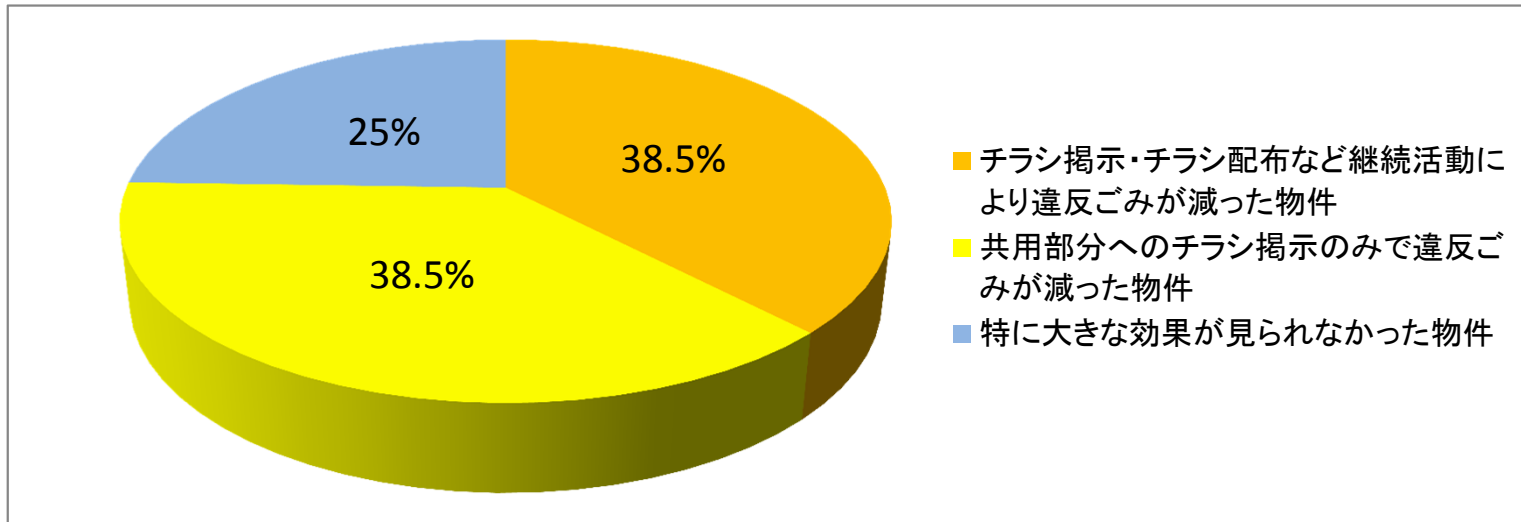


共同住宅ごみ排出マナー改善重点指導プロジェクトの取組結果

① 取組によるマナー改善結果

プロジェクトの結果違反ごみが減った物件	取組結果		物件数	
	共用部分へのチラシ掲示のみで違反ごみが減った物件	15件	30件	10件
チラシ掲示・チラシ配布など継続活動により違反ごみが減った物件	15件			
特に大きな効果が見られなかった物件			10件	10件

対象共同住宅物件: 40件



40件中30件、75%の物件で、プロジェクトの取組みにより不適正排出物の袋数が減った。
また、40件中15件、38%の物件はプロジェクト開始直後から状態がよくなったものであり、管理会社によるプロジェクト開始時のチラシの掲示・配布の効果と分析できる。

⇒プロジェクトにより不適正排出物の減少に一定の効果が表れた。特に、管理会社による啓発チラシの共用部分への掲示等によるだけでも効果が表れることが判明した。

※これらより、清掃事務所による開封調査・個別指導だけではなく、管理会社によるチラシの掲示・配布の効果は大きいものと思われる。

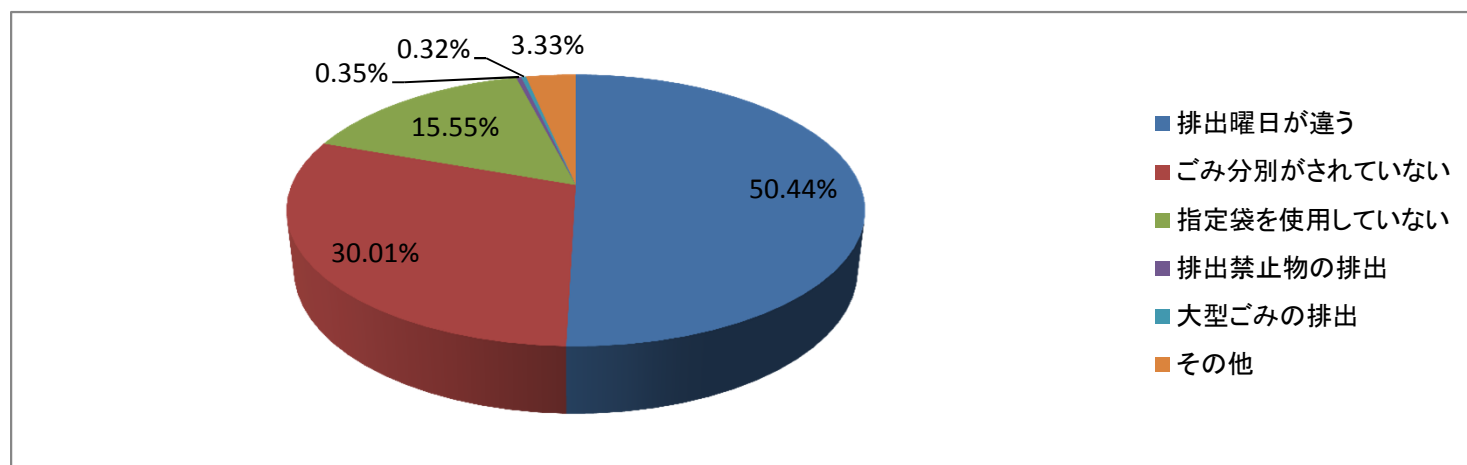
② 開封調査により判明した不適正排出者への指導

指導内容	回数
連絡票による指導	19回
面会による口頭指導	3回
電話による口頭指導	1回

指導人数 20人

※ 清掃事務所と管理会社の両社が立会いの下に面会による指導ができる場面はなかった

③ (参考) 期間内に調査した不適正排出袋数の割合



不適正排出ごみの割合について

- 最も多いのが排出曜日が違うもの(約50%)
- 2番目に多いのが未分別のもの(約30%)
- 3番目に多いのが指定袋未使用のもの(約15%)